



令和4年 上士幌町成人式

● 成人への門出を祝う

1月9日(日)山村開発センターにて成人式が行われ、29人の新成人が参加しました。
式典では、新成人の小中学生の頃の写真を集めたスライドショー上映や、一人ひとりから成人としての意気込みも発表されました。
振り袖やスーツに身を包んだ新成人の皆さんは友人との久しぶりの再会を喜び合い、大人への第一歩を踏み出しました。



12/15 運転免許返納をサポート 運転免許自主返納出張窓口

近年高齢運転者による交通事故が社会問題となっています。加齢などで運転に不安を感じる方などが、免許を返納しやすい環境整備の一環として、運転免許自主返納出張窓口が開設されました。

当日生涯学習センターわかかに開設された出張窓口には、7名の方がいらっしゃいました。

返納された方は「63年運転してきたが、年とともに事故を起こさないか不安になり、今回返納することにした」などの声がありました。

12/16 上士幌の夜空を彩る クリスマスドローンショー

12月16日から25日まで、道の駅かみしほろで「クリスマスドローンショー」が開催されました。

このイベントは300機のLEDライトを搭載したドローンが、道の駅上空で、サンタクロースやほろんちゃんなどさまざまな形を作り、上士幌町の夜空を彩りました。

また、会場では気球焼きや窯焼きピザなどが出店されたほか、道の駅内でクラシックコンサートなども行われました。



子どもの夢・未来応援事業 白井健三氏講演 & 交流「自分を信じる」 体操男子史上最年少17歳1か月で世界選手権金メダルを獲得した天才

12月15日、子どもの夢・未来応援事業が開催され、小中学校で白井健三氏による講演会が行われました。

白井氏は2013年に世界体操競技選手権床運動において、体操男子史上最年少の17歳1か月での金メダル獲得をはじめ、リオデジャネイロオリンピック団体総合で金メダルを獲得するなど、体操競技においてさまざまな偉業を達成された方です。

特に、床運動、跳馬を得意とし、体操競技では国際大会で初めて成功した技の名前に成功者の名前が付けられますが、白井氏は床運動と跳馬合わせて6つの「シライ」と名の付く技を成功させています。



講演会では、自身の体験から、日々チャレンジすることの大切さや、自分の良いところ、他人に負けないところを伸ばし続けることの大切さや、自分に自信を持つことの大切さなどについてお話いただきました。児童・生徒の質疑応答の中で、自分の好きなことを極めるにはどうしたらいいかと質問がありました。白井氏は周りの意見に流されず、自分の好きなことを継続することが大切とお答えいただきました。

講演終了後には実際に演技を行っていただき、3回転半捻りの後方宙返りなどの大技も披露していただきました。実際に見た生徒たちからは、驚きの声と歓声が上がりました。



講演会後は、スポーツセンターで教育委員会主催の子どもの体力向上を目的とした事業「のびのびキッズ」の参加者へ指導と、保護者向けの講演会が開催されました。

のびのびキッズでは子どもたちと一緒に準備体操を行った後、マット運動や鉄棒、跳び箱などの実技を交えながら子どもたちに指導を行いました。

子どもたちの指導後には保護者向けの講演を行い、保護者からは、子どもがスポーツを行う際に大切にしたいことや、子どもをどう支えていかななどの質問がありました。

この事業は全国の皆さまから頂いたふるさと納税寄附金を財源に活用して実施されています。





ベスト4以上を目標に
1/7 上中女子卓球部表敬訪問

1月11日から札幌市で開催される、第37回道新杯北海道中学校選抜卓球大会に出場する、上士幌中学校女子卓球部の8名が教育長を訪問しました。

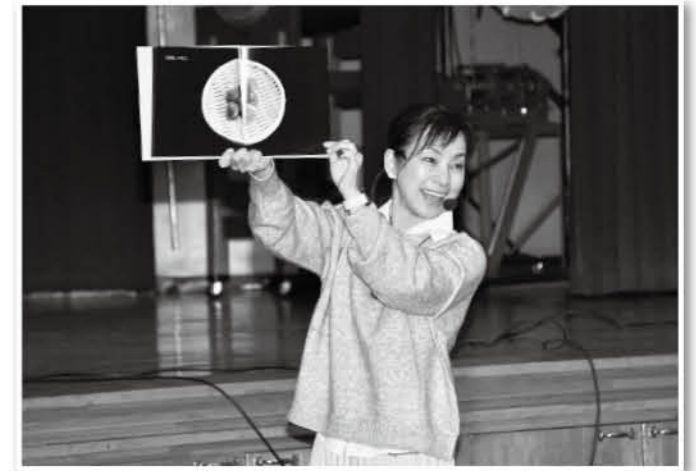
今大会は団体戦で出場し、参加する選手からは「3年生が抜けて、新体制となってから初めての全道大会。練習してきたことを発揮し、夏の大会につながるような大会にしたい」などと参加への意気込みを話しました。教育長は「体調に気をつけて、自分の満足できるプレーをしてほしい」と激励しました。

絵本で親子の時間を
12/20 上士幌町教育講演会

上士幌町連合 PTA・かみしほろ学園推進本部・上士幌町教育委員会共催の上士幌町教育講演会が開催されました。

フリーアナウンサー・絵本ナビゲーターの岸春江氏を講師にお招きし、絵本の読み聞かせや読書の大切さや、スマホ、ゲームの長時間使用に関する危険性などについて講演いただきました。

講演後連合PTA宇佐美会長は「絵本の読み聞かせは親、子どもともに大切な時間と感じた」と話しました。



今後10年のまちづくりに向けて
12/28 総合計画答申書提出

上士幌町総合計画策定審議会の佐藤会長が、第6期上士幌町総合計画(案)について5つの意見を付けた答申書を、竹中町長に提出しました。第6期上士幌町総合計画は2022年から10か年のまちづくりの指針となるものです。今回諮問された案について、審議会で5回の会議が開催され検討が行われました。

佐藤会長は「10年後には開町100周年を迎える。10年後に笑顔のあふれるまちづくりを目指してほしい」と話しました。



2年ぶりに市街地でパレードを実施
1/4 上士幌消防団出初式

1月4日、上士幌消防団による新年恒例の出初式が行われました。団員たちは上士幌神社で安全祈願をした後、市街地で車両パレードと分列行進を行いました。市街地でのパレードは、昨年新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったため、2年ぶりの開催となりました。

パレード終了後には、山村開発センターで式典が行われ、消防団活動に貢献された団員に対し表彰が行われました。



全国大会出場を目指して
1/6 上中スケート部表敬訪問

1月7日から苫小牧市で開催される、第52回北海道中学校スケート大会スピードスケート部門に出場する、上士幌中学校2年生の森田晴水さんが教育長を訪問しました。

森田さんは今大会1000mと1500mの2種目に参加します。「昨年はコロナで全国大会が無くなってしまったが、今年はいいいタイムを出し、全国大会に進める24位以内を目指したい」と大会への意気込みを話しました。



地域を変えていく新しい力

地域おこし協力隊活動報告



記:ICT推進員 外山 愛美

TITLE: 1年半の振り返り

こんにちは。上士幌町役場 ICT 推進室の外山です。

2020年9月に上士幌町に来てから、約1年半が経とうとしています。これまでを振り返ると、札幌に住んでいた頃は毎週末どこかに出かけて服や化粧品を見たり、友人と遊びに行く事を楽しみに生きていたので、その生活は一変しました。不便もありますが、すぐに手に入らないからこそ、本当に自分にとって必要なものかを見極める事ができるようになりました。

活動の中で、新しい取り組みとしてはドローンによる宅配配送の実証実験を行いました。上士幌ならではの宅地の広さを活かし、全国初の玄関前までのドローン配送が叶いました。タブレット端末から注文された商品は、離陸後10分もかからないうちに、ご協力いただいた方のお宅へ生卵や納豆、ごはんを届けました。食料や生活必需品は、どこに住んでいても必要な時にすぐに手に入る事が理想です。外出ができない時でもごはんが頼める事、それがすぐ届く事は地方で一人暮らしをする若い人も、免許を返納した高齢者さんにとっても安心に繋がりますね。

テクノロジーを活用し、皆さんが暮らしやすい住み続けられる町づくりのため、お力になればと思います。

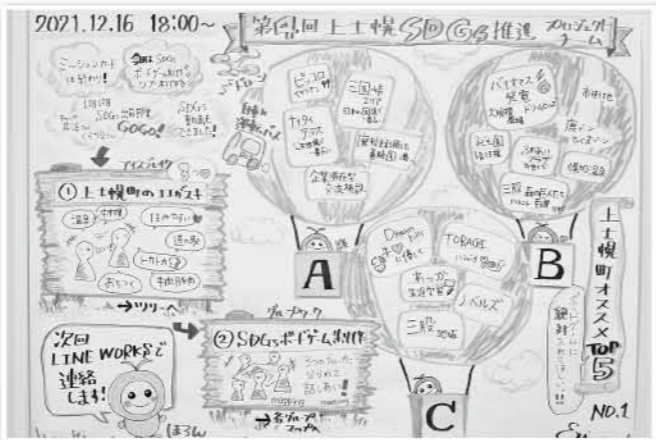


若者×多様性×ジェンダー平等

上土幌町SDGs推進 SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS プロジェクトチーム活動報告

12月16日、「第4回プロジェクトチーム」を開催しました。会議では、上土幌町を舞台としたボードゲーム盤に掲載したいおすすめスポットについて意見を出し合い、その場所と経済・社会・環境面との繋がりについて議論しました。今回でボードゲームの議論は終え、これまでの意見をもとに今後は制作段階に移っていきます。

次回からは、教育旅行や企業の研修旅行への提案に活用するため、まちの魅力を取り入れた「SDGs ツアー」について検討を進めていくこととしています。



SDGs出前授業 最先端技術や企業の取り組みを学びました

さまざまな課題を自分ごととして考え、自らが率先してSDGsの達成に向けて行動できるよう、SDGs出前授業を開催しています。

上土幌小学校では11月から通年事業をスタートしていますが、12月15日には、子どもたちが未来の新たな技術を肌で体験し、今後の学びに役立てていけるよう、自動運転車両への試乗を行いました。また、12月22日には、企業が取り組むSDGsを学ぶ機会として、花王のご担当者から洗剤の容器や包装で使用するプラスチックの循環利用などについてご紹介いただきました。



みんなでSDGs 持続可能な開発目標

今日からできる！世界を変える一人ひとりの取り組み特集

上土幌町では、これまで行ってきた取り組みをさらに深化させることで、まちの価値を高めていこうと、SDGsの視点を取り入れたまちづくりを積極的に進めています。

SDGsの達成に向けては、国や自治体、企業、団体だけでなく、誰より私たち一人ひとりの取り組みが重要になります。そのため、町民の皆さまにSDGsを身近に感じていただけるよう、私たちが日常生活においてできる取り組みを紹介しています。できることからSDGsに取り組んでみませんか。



16 平和と公正をすべての人に

持続可能な開発に向けて平和で包括的な社会を推進し、すべての人に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包括的な制度を構築する

現状と達成すべき課題

戦争やテロリズム、組織犯罪、暴行、虐待など、世の中にはさまざまな暴力があります。世界では、今もどこかで紛争が起こっており、紛争による死者の数は、途上国では先進国に比べ2倍になっています。さらに、司法に守られず、基本的な人権が保障されていない国も少なくありません。日本でも数多くの暴力や虐待などの報道を目にします。

そのため、本目標では、誰もが安心して生活を送れるよう、あらゆる暴力がない平和で公正かつ包括的な社会の構築を目指しています。

私たちにできること

- ・国内外の現状・歴史を学び、発信する
- ・暴力や虐待をなくすため、何ができるか考える
- ・法律がなぜ必要なのか考える
- ・犯罪を未然に防ぐため、日ごろから防犯対策を心掛ける
- ・献血や募金、寄附などできることをやってみる
- ・選挙に行くなど、積極的に政治に参加する 等



17 パートナーシップで目標を達成しよう

持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化

現状と達成すべき課題

SDGsの目標を達成するには、あらゆる資金や人材を動員して、各国政府、市民団体、学会、民間企業など、全員が結束を図っていかねばなりません。経済・社会・環境面における目標は、統合され不可分のものであることから、三側面における持続可能な開発を調和させながら、取り組みを進めていくことも重要です。

そのため、本目標では、特定の開発課題を取り上げるのではなく、他のすべての目標の達成に向け、一人ひとりがSDGsの担い手としてパートナーシップを組み、共に考え、行動を起こし、地球が抱える複雑な問題に向けて取り組んでいくことを目指しています。

私たちにできること

- ・身近にできるSDGsを職場や家庭などで話し合い、実践する
- ・同じ目標達成に取り組む人たちと協力し、取り組み効果を高める
- ・SDGsに関係しそうな情報をSNSで発信する
- ・国際間・世代間交流イベントに参加する
- ・行政区の活動やボランティア活動に参加する
- ・SDGs達成に向けて努力している企業を応援する 等

短歌

不安定のさまに安定保ちたる今朝の荷馬車の不思議なかたち
 そちこちに夜来の雨跡残りるつ空青々と晴れてきにけり
 ウィッグを付けて変化の見えるときマイナス二歳の起動しはじめ
 夕食は家で家族と焼肉をいっばい食べて休重増へし
 正月に遊びに来た姉の子とふれあうひとときおしゃべりをして
 いつまでも元氣な両親日々見つけ幸せ感じる年の始めに
 年始め母と二人の祝い膳いつものように早く済みたり
 書き初めに「粉雪」と記すセンターに快晴の今日は清々と過ぐ
 初散歩神社に行きて祈りたり今年なごみの安寧わが身の健康
 スケートの我が子転んでまた起きる強き姿は微笑ましくも
 十勝晴れピンと震える睦月の空無病息災祈りを込める
 雪の無き十勝の平野に吹く風は畑土舞ひ上げ視界を塞ぐ

石三 関米 瀬小 松高 米尾 本
 川角 口森 戸松 田木 森野 間
 裕一 孝博 洋義 理誠 真よし 栗
 子彦 典樹 明実 恵也 弓乃 風



が、普段使わなぬ筋肉を酷使したせいか、全身が筋肉痛です。糠平湖ではアイスバブルが今年も見れるのですが、雪が降ったため、見たい方はスコップとお湯を持参することをお勧めします…Y

1月11日から12日にかけて上土幌は40cmほどの大雪が降りました。12日の朝から除雪をしたのですが、普段使わなぬ筋肉を酷使したせいか、全身が筋肉痛です。糠平湖ではアイスバブルが今年も見れるのですが、雪が降ったため、見たい方はスコップとお湯を持参することをお勧めします…Y

新年あけました。昨年を振り返りますと、新型コロナウイルスが大暴れしていた記憶がほとんどです。おうち時間が増える中、自宅設備を色々更新しましたが、一番買ってよかったのがロボット掃除機です。大して広くもない借家なので通常の掃除機で十分と思っていたのですが、全然違います。不在時にざっと部屋を掃除してくれるのは、思っていた以上に助かります。もうロボット掃除機無し生活には戻れません。…T

令和3年 12 月末現在の人口

男性	2,417人(-6人)
女性	2,518人(+1人)
人口	4,935人(-5人)
世帯数	2,587世帯(-5世帯)

令和3年度 ふるさと納税寄付金

12 月分	12,525 件	305,029,000 円
累計	64,267 件	987,452,000 円

※全国より本町に篤志寄付の応援をしていただき心より感謝を申し上げます。
 ※1月13日現在

寄付 (1/12まで)

12月24日、株式会社安井測量設計事務所様が町の振興のため、10万円を寄付されました。

令和3年度「上高たより」
 上土幌高校です!

No. 46
 令和4年
 1月25日

文責：教頭

TITLE: 3年生の学習成果発表会にご来場ありがとうございました

12月9日(木)に「わか」において、本校3年生の選択授業の学習成果発表会を行い、予想以上に多くの関係者の方に来場いただきました。

オープニングでは「音楽表現」選択者と音楽担当の野村教諭による演奏が披露され、その後は各ブース毎で発表を行いました。「科学と人間生活」ではうどんづくりの成果、「実践英語」では英語で熱気球の紹介、「上土幌学」では今年取り組んだ題材ごとに、そして「ライフデザイン」では、道の駅の協力を得て生徒が商品やレストランのメニューを考案し販売するまでの取り組みを、それぞれプレゼンテーションソフトを用いて丁寧に説明をしておりました。沢山の来場者から「大変素晴らしかった」などの声をいただき、生徒たちも充実感をにじませておりました。



△フルートとドラムは吹奏楽部ではない生徒です



△高校生が考案した新しいレシピを発表しています



△高度な数学についての発表もありました

上土幌高校新聞局通信



プレゼンテーションの授業をリモートで受けました。

文責 渡邊 このみ

2年生「総合的な探究の時間」で11月初旬から約1か月間にわたって「明日の寺子屋」という会社の手助けを受けながら、上手に「自己PR」をするための授業を受けました。リモートでやり取りを進めるのですがルールがいくつかあって、①先生とは呼ばずに「先輩」と呼ぶ②とにかくやってみるなど、質問がしやすい環境での活動でした。最初はグループ単位で「先輩」が付きましたが、最後の方は個別に作っていました。ちなみに私はバイト先のマクドナルドについて紹介しましたが、緊張して制限時間内に終われませんでした。でも「先輩」から良かった点3つ、改善点を1つアドバイスをもらいました。冬休み中「わか」に「先輩」が来ているので是非行ってみたいです。



△分からないところは先生に訊きながら



△画面の向こう側から「先輩」が話しています



△一人ひとりが「先輩」と向き合っています